

こちゅう



『初秋』 (地域医療連携室 野田 祥平)

- 認知症ケアチーム/日本看護協会看護教育学術集会
- 身近にある法律相談Q&A
- 減災チーム/食物アレルギー除去食の配膳トレー・食札立て変更について
- 魚釣道中膝栗毛/琴浦ふれ愛ボランティア通信/食材の底力「ズッキーニ」
- 公開医療介護講座「パネルシアター 赤ずきんちゃん」
- 花ばさみの会/外来オープンギャラリー
- 9月診療予定表/当番医のお知らせ



認知症ケアチーム

認知症ケアチームの活動を開始して、約1年が経過しようとしています。

月に一度のカンファレンスと年に二回の院内研修会を実施し、認知症高齢者看護について検討を行っています。この度、認知症高齢者の特性・日々の関わり方について、全職員を対象に225名が参加し、看護協会の配信を活用した研修会を行いました。基礎知識を向上させることにより、今後の看護提供に活かして行こうと思います。

平成37年（2025年）には、認知症高齢者数は推定730万人と言われていています。

主な認知症の原因には、①アルツハイマー型認知症 ②血管性認知症 ③レビー小体型認知症 ④前頭側頭型認知症の四大認知症があります。

認知症の内、約50%はアルツハイマー型認知症が占めています。

認知症高齢者がスムーズに入院・加療を受け、退院して元の生活に戻るには、地域での本人の暮らしに関する情報を具体的に把握し、診察・看護ケア・介護の場面で活かす必要があります。そのためには普段どのような日常生活を送っていたのかを、家族から情報提供して頂く事が不可欠となります。当院では認知症ケア加算2を習得しています。対象患者は認知症の診断決定がなくとも、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通も困難が見られ、介護を必要とする場合になります。

認知症高齢者は失うことへの不安と常に向き合っているかなければならない現実があります。その不安を少しでも軽減出来るように、家族と病院もしくは施設、地域との連携が認知症高齢者を支える環境作りには欠かせないと思います。

連携は人対人の相互作用であり、必要なのはちょっとした思いやりだと思います。

（認知症ケアチーム 高森 絹代）



第48回日本看護協会看護教育学術集会 (in 香川) に参加しました

環境変化に対する看護教育 ～人材能力を見極め引き出す～ 学術集会に参加しました。



今回、初めて日本看護学会、看護教育の学術集会に参加させていただきました。2日間で看護実践の現場や看護学生育成の現場などで抱える問題や疑問についての口演発表が87題ありました。

教育講演では、中途採用者も新人と同じように、組織・行動方法・考え方などの説明を希望しており、既職員は異文化体験であることを理解し中途採用者と価値を共有することが大切であるといわれていました。そして一人前の存在として認め、心理的に対等であり相互尊重できる関係性が重要であるといわれていました。

共に看護援助をおこなっていく大切なスタッフの一員であり、看護の面だけではなく、共に切磋琢磨して成長できるような関係でありたいと思いました。個々の人材の能力を見極め引き出し、向上してもらえるように、児島中央病院へ入職して良かったと感じてもらえるような関わりをしていきたいと思いました。自らも研修会へ参加したり教書を読んだり、学びを深めていこうと思いました。

運営スタッフの皆さんの笑顔と優しく丁寧な対応に、運営に関わることがあれば、参加者の方が、気持ちよく聴講できるようにしたいと思いました。
(2階病棟師長 夏田 千鶴)

私は、教育委員として職員の教育活動をさせて貰っています。新人教育、現任教育など院内研修を勤めていく立場であり、難しさを痛感しています。集合研修は、プログラムに沿って行っていますが、個人の理解度などの研修後のフォローが毎年研修を組む上での悩みでもあります。

一昔前は、先輩の背中をみて育つと言う時代もありました。しかし現在は、育てる環境にする事が重要であると言われていた時代、多忙な業務をこなしながらの教育は教える側のスキルにも影響してくると感じています。

今回、人材の能力を見極め引き出すがテーマにありました。これまでもいろんな人に関わってきて、見極めて引き出すと言うことができたなら、成長幅は大きくなるだろうなと思っていましたが、実行は難しいです。講演の中でも、成人学習者の特徴を学べました。そのような傾向や特徴を知ることに関わり方の幅が広がると思いました。個人差があることを認識し、その人を認め、許容量を超えない指導が大切であると学びました。分かって貰いたいという思いは、ついつい許容量を超えたものになりがちだと思い自分も注意を促していこうと思いました。自施設と照らし合わせながら講義を受けると納得が出来、いい学びになったと思います。

教育に携わる中で、悩んだり、壁にぶつかったり、できないとってしまうこともあったり、教育委員としてあまりいい環境を提供できていないのではと思いながら活動していますが、今回の研修でいろいろな視点から学んだ事を参考にしながら悩んでいこうと思います。
(3階病棟副師長 岡本 千晶)



院内のスタッフ対象に減災研修会を行いました

7月12日に院内のスタッフ対象に減災研修会を行いました。

当院の災害対策は、現在リスク委員会で取り組んでいます。災害時、病院の方針となるDPCの内容を検討作成し、各部署のマニュアルを作成していくことで、業務内容の見直しや、準備すべき物品・スタッフの配置・役割・心構えなどが明確になってきます。DPCを整備していくことは、災害に対する意識レベルの向上にも繋がって行くと思っています。いつどこで起きるかわからない災害に対して、平時からスタッフ一人一人の意識と理解が、重要になってきます。

研修では、東日本大震災の際の石巻赤十字病院の初動対応の実録を映像で見てもらいました。参加したスタッフは皆、真剣に見ていました。60分の研修会でしたが、研修会終了時のアンケートでは、実際に起きた映像を見たことで、今の自分にできる事は何か、しっかり災害に対して考えなければならないと意識が芽生えていました。非常食の確保についても、災害発生時、病院内で働くスタッフのためのものであり、救援隊が来るまで、自分たちの身は自分たちで守らなければならないことを、十分感じ取ってくれました。また、清潔なトイレを確保することは、災害発生からの二次災害を防ぐ重要な事も理解してもらえました。

今後はより具体的な、研修会や災害訓練を行うことで、イメージしやすく、頭の中でのシミュレーションができる事で、平時の心構えに繋がれば良いと思います。また、報告・連絡・相談であったり、コミュニケーションであったり、優先順位の付け方など、日頃から出来る事はたくさんある事も、研修会を通して伝えていきたいです。



あなたの災害に対する意識は…どうですか？（リスク委員会 減災メンバー 山中 昌子）



食物アレルギー除去食の配膳トレイ・食札立て変更について

栄養管理科では、「安全の見える化」として食物アレルギーのある患者様の配膳トレイと食札立てを色分けし、食事を提供するというのを今年7月より開始致しました。

様々な医療事故がある中、食事においては異物混入や誤嚥などがありますが、中でも食物アレルギーは、アナフィラキシーショックなど命にかかわる場合もあるため、誤配膳がないよう対策が必要です。

食物アレルギーのある患者様が入院されると、管理栄養士が患者様本人やその家族に聞き取りを行います。「どのようなアレルギー症状が出るのか」、「普段の食事はどこまで除去しているか」等、何をどこまで除去するかは個人差があるため詳しく聞き取りを行った後、「一部除去」か「完全除去」か判断します。卵で例えると、「卵そのものだけ食べられない」など目に見えるものだけ避ければ良い場合は、一部除去対応となります。一方、卵そのものに加え、卵を使用したパンやつなぎとして卵を使用した天ぷらなど、少量でも卵を使用した食品・料理も食べられない場合は、完全除去対応となります。

これまででは、アレルギー対応を食札に表示するのみでしたが、さらに配膳トレイと食札立てを色分けすることで、「誰が見ても分かる」ということから、栄養管理科スタッフだけでなく、患者様に直接食事を運ぶ病棟スタッフも一目で「この食事は、アレルギー食品を除去した食事」という共通認識ができ、誤配膳防止につながると考えています。

日々の業務に満足することなく、もっと良い方法はないかを振り返り、今後も安全で美味しい食事を提供できるように努めていきたいと思っています。

(栄養管理科)





「パネルシアター 赤ずきんちゃん」

8月10日(木)午後2時から当院多目的ホールにおいて公開医療介護講座「パネルシアター赤ずきんちゃん」を開催しました。川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部デザイン学科との合同企画として公開講座を行いました。

当院で何回も打ち合わせをし、今年は紙芝居ではなくパネルシアターという新しい手法でのコラボイベントとなりました。

今年で3回目となる川崎福祉大学の学生との合同企画は、赤ずきんちゃんのストーリーに沿った内容で、健康について楽しく学べる公開講座となりました。途中、来場者全員にプレゼントされた、学生手作りのうちわを使っての○×クイズが出題され、皆さんに答えてもらうコーナーもあり、いつもと違う公開講座となりました。次回の講座もお誘い合わせの上、ご参加ください。(地域医療連携室 野田 祥平)



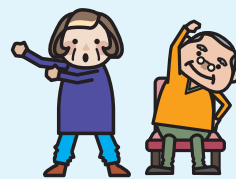
次回
予定

平成29年9月28日(木) 14:00～
「転倒予防体操」

次回の講座はリハビリテーション科 作業療法士 佐藤 仁美による「転倒予防体操」を開催します。

高齢者にとって転倒は骨折につながり、そのまま寝たきりになる場合もあります。今回は実際に体を動かしながら、家庭でも簡単にできる転倒予防体操について学べます。ぜひご参加ください。

(地域医療連携室 野田 祥平)





賃貸借契約の連帯保証人は責任を免れる余地はないのか？

私は、10年前、娘夫婦がアパートに入居するにあたり、義理の息子から保証人になってもらえるよう頼まれ、その当時は娘夫婦の夫婦関係も円満でしたので、気軽に連帯保証人になることを引き受けました。1LDKで、家賃は6万5000円でした。しかし、その後、娘夫婦の関係は険悪となり、4年ほど前に離婚してしまい、娘は実家に帰ってきましたが、義理の息子のほうは、そのままアパートで生活し続けています。一昨年、義理の息子は、大病を患ったようで、仕事も辞めざるを得なくなり、どうも昨年よりずっと賃料を滞納しているようです。このまま義理の息子が賃料の滞納を続けた場合、私は、義理の息子の滞納賃料を延々と支払い続けるよりほかないのでしょうか。



保証契約締結から相当期間が経過しているだけでは、連帯保証契約の解約はできませんが、貸主に賃貸借契約の解除を求めても応じてもらえない場合には、連帯保証契約の解約が認められる可能性もあります。

土地や建物の賃貸借契約は、長期にわたることも多く、その間に借主の経済的な状態が悪化することもあります。そのような時に備えて、貸主は、保証人を要求することが通常です。一方で、保証人の立場からしますと、賃貸借契約では保証期間が長期にわたることから、借主が賃料を滞納する度に何度も債務を負う可能性があり、また、予想外に大きな損害を被るおそれもあります。貸主が保証人を要求する趣旨からすれば、借主の賃料滞納につき、保証人が全面的に責任を負うべきということになりますが、保証人が過度の負担を強いられることのないよう調整が図られる必要があります。

この点、賃貸借契約は、継続的な契約になりますので、貸主と借主の間に信頼関係があることが前提となっており、このような信頼関係が破壊されているといえるような場合には、契約解除により契約を終了させることができる旨の条項が通常盛り込まれています。そして、そのような条項に該当する典型的な場合として、「賃料の支払いを○か月怠った場合」といった賃料不払いの場合が定められています。

今回のケースでは、義理の息子さんが、既に昨年より賃料を滞納しているとのことですので、このような条項に該当するものと考えられます。賃貸借契約の貸主と借主の間の信頼関係は破壊されているといえますので、貸主により賃貸借契約が解除されていて当然とい

森脇法律事務所
弁護士 飯生 明



うべき状況です。そこで、まずは借主である義理の息子さんにアパートから退去するように求めるべきでしょう。その上で残念ながら、義理の息子さんが退去を拒むようであれば、貸主に対して、これ以上滞納賃料が増え続けることがないように賃貸借契約の解除を求めるべきです。そして、貸主においても求めに応じないような場合には、連帯保証契約の解約を主張すべきです。保証契約締結から相当期間が経過しただけでは保証契約の解約は認められないのが通常ですが、借主がしばしば賃料の支払いを怠っており、将来の支払いの見込みもなく、経済的な状態が悪化している事情があるにもかかわらず、貸主が契約解除等の適切な対応を講じなかった場合には、保証契約の解約を認めた判例もあります。順次必要な手立てを講じていくことによって、過度な負担を強いられないようになさってください。



森脇法律事務所
〒700-0816 岡山市北区富田町一丁目2番13号
TEL : 086-226-1215 FAX : 086-226-1239
MAIL : info@moriwaki-lawoffice.com



地域医療連携室だより 「魚釣道中膝栗毛」

世界には釣りに関する格言が多々ありまして今月はその中で最も有名な格言をご紹介します。

- 「一時間、幸せになりたかったら酒を飲みなさい。」
- 「三日間、幸せになりたかったら結婚しなさい。」
- 「八日間、幸せになりたかったら豚を殺して食べなさい。」
- 「永遠に、幸せになりたかったら釣りを覚えなさい。」

中国古諺より

かくして私も 17 時を過ぎたら釣りに行くわけです。

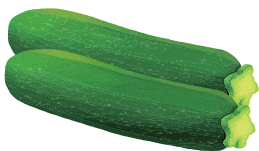
(地域医療連携室 野田 祥平)



琴浦ふれ愛・ボランティア通信

8月23日(水)、当院多目的ホールにてボランティアグループ「琴浦ふれ愛」の皆さまにお越しいただき、レクリエーションの一環として、入院患者の皆さんと一緒に毎月恒例の「カレンダー作り」をしました。今回のテーマは「お月見」で参加された方々はボランティアの皆さんの協力を得ながら思い思いの色絵を楽しんでいらっしゃいました。

(地域医療連携室 友定 愛)



ズッキーニ

ズッキーニは見た目がキュウリそっくりなのであまり栄養素が無いような印象を受けますが、実はかなりの栄養素を含んでおり、特にカリウムが豊富です。カリウムはむくみの解消や余分な塩分の排出にも効果があり、高血圧や糖尿病を予防する働きがあります。また、ズッキーニは 100g あたり 14kcal と低カロリーながらも食べごたえがあるのでダイエットにもピッタリです。塩もみや、加熱をしても茄子のような食感で食べやすいです。購入する際は、太さが均一で極端さが無いもの、肌表面に傷などの傷みが無いものを選ぶのがポイントです。

(栄養管理科)



「花ばさみの会」

いつも受付ロビーや外来の待合にある生け花をご存知でしょうか？

当院では「花ばさみの会」という同好会があり、定期的に生け花の先生を招いて活動しています。

その季節にあった花を生けていますので是非同好会の作品をご覧ください。

(花ばさみの会)



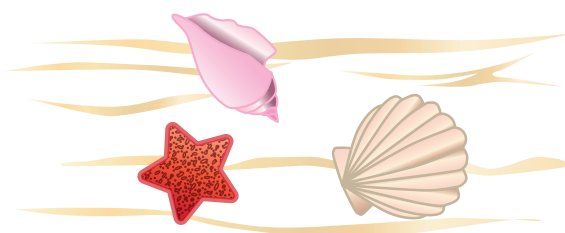
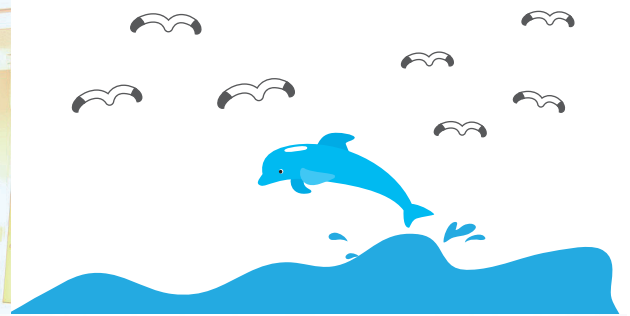
ようこそ!! オープンギャラリー 「癒しの空間」へ

夏真っ盛りの日差しの中、今月のオープンギャラリーは外来の助手さんたちが展示を作ってくれました。

見覚えのある方もいらっしゃるでしょうか。今年の春に川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン科の学生さんたちが作った魚を再利用させていただきました。

暑い日々が続きますがこれを見て涼を感じて頂ければ幸いです。

(外来スタッフ)



外来診療予定表 (9月)

診療科	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	午前	☆	山本真也	井関裕義 (禁煙外来)	大貫敬三	鏡原康介	大貫敬三	早川昌志
		☆	浦久保直澄	浦久保直澄			山本真也	井関裕義
	午後	☆	鏡原康介	早川昌志	山本真也	浦久保直澄	早川昌志	
	夜診	18:00~20:00	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	
糖尿病外来 (内科と併診)	午前	☆					中山富雄	
	午後	☆					中山富雄	
呼吸器内科	午前	☆		阿部公亮			非常勤医師	
胃腸内科	午前	☆	大貫敬三					
※① 循環器内科	午前	☆	笹平彬貴		鏡原康介	玉田智子 (9:00~12:00)	循環器内科医師 第1	
	午後	☆	笹平彬貴 (13:30~16:30)		鏡原康介	玉田智子 (13:30~16:30)		
総合診(内科系)	午前	☆		院長 田邊秀幸		古谷保		
小児科	午前	☆	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	
	午後	13:30~14:30	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	◎	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	
	午後夜診	15:30~20:00	中島英和		中島英和	中島英和	中島英和 (14:30~17:00)	
外科	午前	☆	院長 田邊秀幸 (8:30~10:00)	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸 (8:30~10:00)	院長 田邊秀幸 (8:30~10:00)	院長 田邊秀幸	
	夜診	18:00~20:00	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	外科系医師	
整形外科	午前	☆						
	午後	13:30~16:30		渡邊良		加川明彦		
脳神経外科 脳卒中科	午前	☆	木村知一郎	木村知一郎 (8:30~10:00)	木村知一郎		木村知一郎 (第3金8:30~10:00)	
脳卒中科	午前	9:00~11:30				植村順一		
耳鼻 いんこう科	午前	☆	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	
	午後	14:30~17:00	東川康彦			東川康彦	東川康彦	
形成 美容外科	午後	14:00~17:00					宗内巖 第1・3・5	
皮膚科	午前	9:30~12:00	桑原千晶			山本佳子		
泌尿器科	午前	10:00~12:00					非常勤医師	
婦人科	午後	15:00~17:00				非常勤医師		
放射線科	午前	☆			小國達郎	小國達郎		
	午後	☆			小國達郎	小國達郎		
※② 歯科 歯科口腔外科	午前	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・猿山	猿山・米満	田中・仲田	猿山・田中
	午後	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・猿山	山本・米満	田中・仲田	田中輝
	夜診	18:00~20:00	猿山雅典		田中輝		田中輝	
健診 (予約のみ)	午前	☆	東良平	藤井守	小國達郎	小國達郎	東良平	井関裕義
	午後	13:30~16:00	東良平	藤井守	小國達郎	婦人科健診 のみ	東良平	

※①…循環器内科は月・水・木・金・第1土曜日は予約制となります。
 ※②…整形外科の診療(午後診)は手術のため、急遽休診となる場合があります。
 ※③…歯科の受付時間は各日ともに診療終了時刻の1時間前となります。
 ◎……予防接種・乳幼児健診・アレルギー・検査日(13:30~17:00)
 ☆……午前8:30~12:00・午後13:30~17:00

児島中央病院だより

平成29年9月1日発行(毎月発行)
 発行責任者: 田邊 秀幸
 編集責任者: 山田 達也

地域医療連携室
 TEL (086)473-7815
 FAX(086)473-7816

当番医の
お知らせ

9月17日(日)は、地区の当番医です。



医療法人医誠会
児島中央病院

〒711-0912 倉敷市児島小川町 3685 番地
 代表 (086) 472-1611 FAX (086)474-3148

<http://www.kojimach.or.jp>